

科目名	臨床心理学 I					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	5270

●授業のテーマ

現代の心の問題とカウンセリングの基礎理解

●到達目標

現代社会において心の問題は増加傾向にあり、心理的援助を求めている。臨床心理学 I では、担当者の臨床場面で経験した事例を紹介し、学生諸君が医療、福祉、教育領域などの現場に出た際に、心理的諸問題に対応できるような臨床心理学的基礎知識や技術を習得することができる。

●学習内容(授業概要)

臨床心理学の専門的技法は、臨床心理査定（心理テスト）、臨床心理面接（カウンセリングなど）、臨床心理的地域援助（コミュニティ心理学）の3つがあげられる。これらの技法が現場でどのように有効に活用されているのかを解説する。その中でもカウンセリングについて取りあげたい。特に保育現場や学校教育においてカウンセリングに対する関心や期待には大きなものがある。保育現場や学校現場に見られるさまざまな問題に対して、いろいろな角度からのアプローチが試みられているが、その中の有効な解決方法のひとつがカウンセリングである。保育現場における幼児教育相談、学校教育における教育相談とカウンセリングについてさまざまな考え方、理論も含めた基礎的事項について理解を図ることとする。[キーワード] 心の問題、カウンセリング、教育相談

●学習内容(授業計画)

1. 動機は何か ーなぜ臨床心理学を学ぶのかー
2. 対人援助者、保育者、教育者として重要なこと
3. 臨床心理学とは
4. 心理カウンセラーとは（保育心理士、臨床心理士など）
5. 臨床心理学の基礎知識
6. 臨床心理査定（心理テスト）
7. 臨床心理面接（カウンセリングなど）
8. 臨床心理的地域援助（コミュニティ心理学）
9. カウンセリングとは
10. カウンセリングの理論と技法（傾聴、受容的態度、共感的理解）
11. カウンセリングにおける傾聴（傾聴実習）
12. 保育現場とカウンセリング（いじめ、登園拒否、児童虐待、発達障害）
13. 学校現場のカウンセリング（いじめ、不登校、摂食障害、うつ病など）
14. 教育相談とカウンセリング
15. スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについて

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、予め、テキストで調べて授業に臨むこと。また、授業後は、授業の要点をまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

試験の得点（70%）、小レポート（30%）によって総合的に評価する。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：こころのケア―臨床心理学的アプローチ―、著者名：池田勝昭・目黒達哉 共編、出版社：
学術図書出版 2010 年、販売先：Do

●参考文献／その他

講義中に紹介する。

●履修上の注意

講義時に指示